

学校図書館担当の先生方におかれましては、「学校図書館教育研修会・連絡会」への出席、どうもありがとうございました。

各学校の学校図書館作業計画会議では、夏休み前の貸出や夏休み中の開館が話題になっていることと思います。夏休みにお薦めの本の紹介は、貸出の前に学校図書館支援員やスクールスタッフに一言話してもらっただけで児童・生徒の本への興味が広がります。

1 学期を振り返って

1 学期を振り返って、先生方の授業で学校図書館は、役に立ったでしょうか。小学校高学年以上では、本・ファイル資料・インターネット・フィールドワークなどから複数の方法で情報を収集し、それを比較・検討・評価して活用できるように、学習目標や児童・生徒の実態に合わせてご指導ください。

また、全児童・生徒が 1 か月に 1 冊以上の本を読んでいたでしょうか。「健全な教養を育成する」立場で読書に親しませるよう、成長の糧となるような本との出会いの場の設定をお願いします。

探究的な学習で課題をつかむ

探究的な学習で一番大切でかつ難しいのが、課題設定です。しかし、この課題を見つける力は、これからの時代を生きていく人間にとって、重要な能力の一つです。授業では、日頃の気付きや興味・関心を掘り起して、テーマにまで高めていきます。初めの段階では、「〇〇の～」と関連のあるテーマを考えるとやりやすいようです。ウェブ図は、小テーマ同士の関連も表すことができます。

「しんじゅく学校図書館」のサイトに掲載している「テーマを決めるためのいろいろな方法」を添付しましたので、参考にしてください。

また、なぜそのテーマにしたいのかを明確にすることによって、調べたいと思っていることがより鮮明になってきます。たとえば、「野菜ジュースについて調べたい」という場合、よくよく聞いてみると、「自分は、トマトが嫌いだが、トマトは食べたほうが良いと思っている。いろいろな野菜や果物とミックスしたらおいしいと感じるトマト入りのジュースができるのではないかと思った。」という返事。それなら、「トマト嫌いでも飲める野菜ジュースを作ろう」というテーマで、「トマト特有の匂いや味について調べ、その味を消すためにどのような工夫があるか調べてみよう。トマトの栄養についても調べよう。」ということになり、野菜ジュースではなくトマトから調べることになったといった具合です。

まとめの段階で必ずテーマ設定の理由を書くことも大切です。

学校図書館教育研修会でも話しましたように、レポートにまとめる基本の形を繰り返し指導し、定着させたいです。「しんじゅく学校図書館」に掲載の小学校用「自由研究をしよう」と中学校用「個人課題研究の手引き」を添付しますので、参考にしてください。「図書館を使った調べる学習コンクール」の応募要項では、小学校 B4 まで、中学校 A4 までですので、ご注意ください。

小学校の学校図書館支援員から中学生へ

「しんじゅく学校図書館課学校図書館アドバイザーだより第 32 号」で紹介した中学校の学校図書館支援員からの図書館便りの続きで、今度は、小学校の学校図書館支援員が中学校でも読書に親しみ読書の継続を促すことを目的として、中学校の蔵書の中からおすすめの本を紹介する便りを作成中です。

中学生になっても引き続き学校図書館を活用し、読書に親しむよう、読書の指導に生かせるといいと思います。各中学校に届きましたら、ご活用ください。